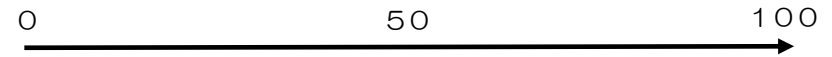


# スケールチャート

このツールは、数直線上に示された0、50、100の指標をもとに自分のネームプレート置いて意思表示していくものである。容易であるとともに、自己の内面を数値で相対化することは、「なぜ、そう考えたのか」という自己への問い、他者への問いを引き出すことにつながる。

また、自分と他者との違いが視覚としてとらえられ、考えや思いの差異に着目しやすいよさがある。こうした話し合い活動では、他者の思いと比較して考えたり、共通部分を関連付けて考えたりするなどの思考力が発揮され、活発な話し合いが期待できる。

スケールチャート



## 【使い方】

- ①数直線を引く。左から、0、50、100など数値を付ける。中心を0として、左は-（マイナス）、右を+（プラス）としてもよい。
- ②考える内容を伝える。考える内容について、0（左側）がよくないイメージ、100（右側）がよくなるイメージであることを知らせる。
- ③意思表示を行う。数直線上に、ネームプレートやシール、付箋などを貼る。
- ④数直線上のネームプレートやシール、付箋などの散らばり具合から、全体の傾向をつかむ。
- ⑤なぜ、その位置にネームプレートなどを貼ったのか、理由などを交流する。
- ⑥共通点や問題点などを話し合いながら、考えをまとめていく。

スケールチャート 例 係活動の振り返り



△△子  
一生懸命取り組んでいた人と、そうでない人がいた。

□□太  
新聞を発行することができた。もう少し多く発行したかった。

○男  
新しい取り組みを入れながら活動することができた。

●美  
計画通りに活動することができた。